

竹ペレットを給与した乳牛の泌乳成績と生理状態

畜産試験場

城戸 英、家木 一

ペレット状に加工された間伐竹材(竹ペレット)の乳牛用粗飼料としての利用性について、泌乳成績および生理状態などから検討した。試験1として泌乳後期牛を、試験2として泌乳中期牛を、それぞれ4頭ずつ供試し、粗飼料としてスーダン乾草のみを給与するS区とその乾物比50%を竹ペレット35%+アルファルファヘイキューブ15%で代替するB区の2処理を設け、予備期10日本期4日を1試験期とする2×2スイッチバック法により処理の差を比較した。その結果、竹ペレットの採食性は良好で、試験2ではB区の乾物摂取量がS区よりも有意に高かった($P<0.01$)。泌乳成績については、両試験とも乳量に差はなかったが、試験2のB区で乳脂肪率がS区よりも有意に高かった($P<0.05$)。血液成分とルーメン内pHは、両試験とも処理間に差を認めなかった。以上のことから、竹ペレットは乳牛用粗飼料として利用可能であると判断された。

畜種：牛、分類：畜産技術